

平成 24 年度 農地・水保全管理支払交付金の状況

I 共同活動支援交付金の取組状況

(平成24年12月31日現在)

農林振興センター	市町村数	対象組織数	協定農用地面積 (ha)			交付金額 (千円)	
			田	畑	草地		
さいたま	5	11	460	352	107	1	12,611
川越	6	9	261	198	62	0	8,264
東松山	8	23	462	393	70	0	15,328
秩父	3	15	181	51	130	0	4,683
本庄	3	7	498	165	333	0	13,011
大里	3	50	2,931	2,467	464	0	105,109
加須	3	45	906	898	8	0	34,544
春日部	5	26	429	353	76	0	13,335
	36	186	6,128	4,876	1,250	1	206,885

※協定農用地面積、交付金額の合計値は、四捨五入の関係から合致しない。

(参考) 前期対策からH24年度への移行経過

○市町村数(46市町村⇒36市町村)

・H23完了:△10市町

(所沢市、坂戸市、日高市、毛呂山町、ときがわ町、上里町、久喜市、宮代町、杉戸町、松伏町)

○対象組織数(219組織⇒186組織)

・H23完了:△53活動組織(23市町)

・H24新規:11組織(4市町)

・組織分割による増:9活動組織

○協定面積(9,416ha⇒6,128ha) ※ 交付対象農用地面積の比較(H23:6,456ha⇒H24:6,062ha)

・H23完了:△1,233ha

・H24新規:499ha

・その他:△2,554ha(活動区域の見直し等によるもの)

II 向上活動支援交付金の取組状況

1 施設の長寿命化のための活動

(平成24年12月31日現在)

農林振興センター	市町村数	対象組織数	活動期間中に補修・更新等を行う施設			交付対象農用地面積 (ha)	交付金額 (千円)
			水路 (km)	農道 (km)	ため池 (箇所)		
さいたま	4	7	12.6	0.5		314	12,589
川越	2	4	1.3			151	6,421
東松山	1	2	0.9		1	36	1,384
秩父	2	6	2.8	1.7		52	1,467
加須	1	1	0.5			22	968
春日部	4	22	15.9			297	13,016
	14	42	33.8	2.2	1	872	35,845

※施設、交付対象農用地、交付金額の合計値は、四捨五入の関係から合致しない。

(参考) 施設の長寿命化のための活動のH23年度からH24年度への取組状況

○市町村数(12市町⇒14市町)

・H24新規:2市(さいたま市、羽生市)

○活動組織数(33組織⇒42組織)

・H24新規:9組織(さいたま市1、鴻巣市1、羽生市1、春日部市6)

III 農地・水・環境保全組織の設立状況

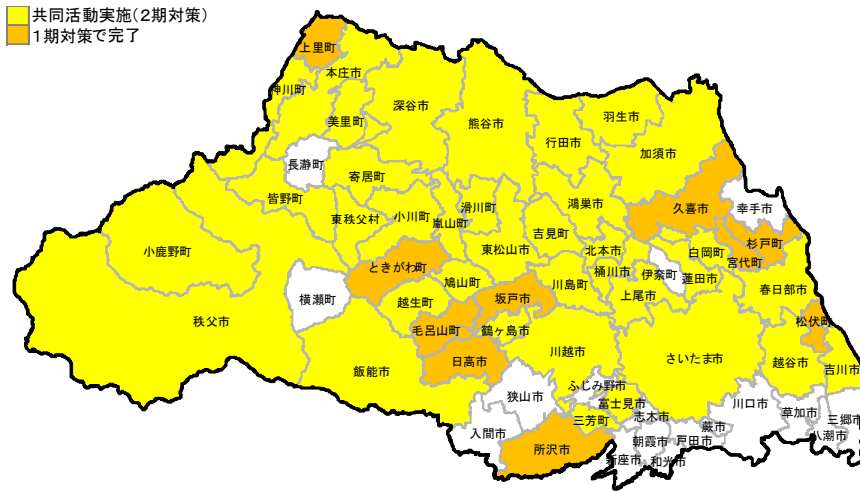
○農地・水・環境保全組織:5組織設立

・H23年度実施活動組織の移行による設立:5組織(熊谷市4、神川町1)

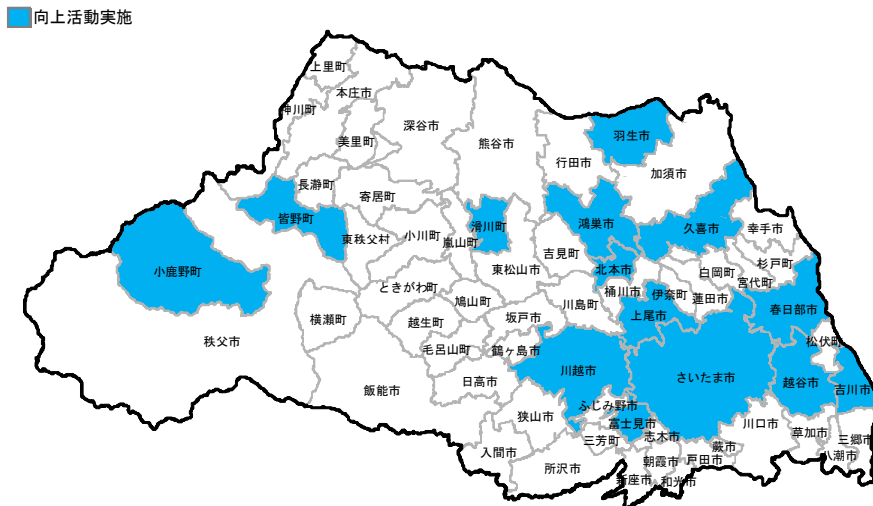
※ 「農地・水・環境保全組織」とは、旧市区町村単位又は農用地面積が200ha以上の広域エリアにおいて農地・農業用水等の資源と地域環境の保全を行う組織で、設立等の際に必要な経費の支援を受けることもできます。(2期対策から)

平成24年度 農地・水保全管理支払交付金の実施状況

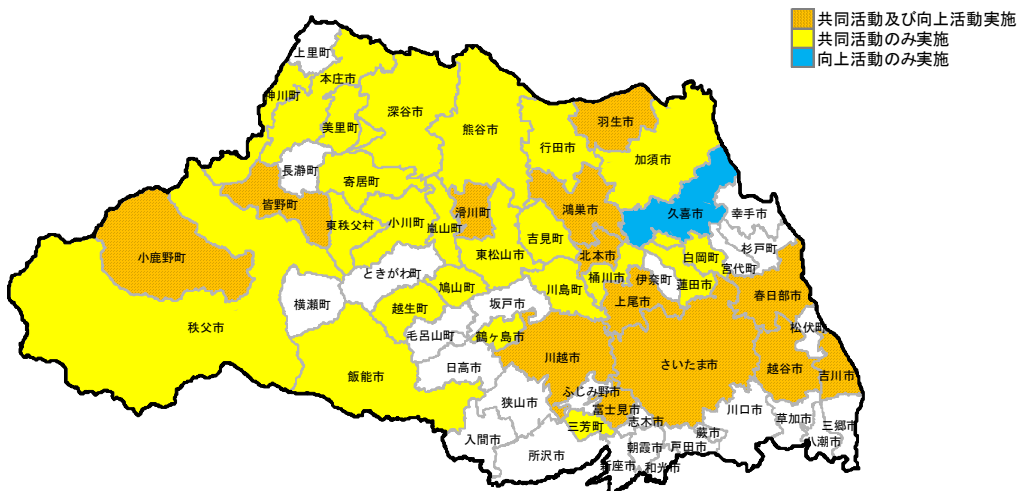
共同活動(2期対策)実施市町村



向上活動実施市町村



農地・水保全管理実施市町村



昔からの伝統 かかしまつりを中心とした地域保全

(組織名) 北山田田園環境保全推進グループ (市町村) 川越市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
22.1ha	3.3ha	km	5.4km	7km	箇所	km



かかしまつり

ヒメイワダレソウの植栽

2 活動組織の構成員

北山田農事支部 北山田パイプライン組合 ふれあいの里 北山田野草の会
北山田自治会 北山田育成会 北山田あゆみ会 北山田北寿会
構成人数 約800人 (うち農家 約60人)

3 地域の様子と取組内容

北山田地域は川越市の北部に位置し、昭和58年度から平成元年度にかけて土地改良総合整備事業が行われた水田地帯であり、市街地に近く非農家の混住化が進んだ地域です。

農家の減少や高齢化が進み、農業関係者だけでは農村環境の保全が難しくなってきました。

そこで、既存の地域活動である「かかしまつり」、「花の植栽」等を活用した農家・非農家の連携体制をより強化し、環境活動・啓発活動の取組みにより、農業振興を継続できる環境を整えることを目的に、平成19年度から本対策を推進して参りました。

4 主な活動内容（平成23年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農業用施設の点検、機能診断（4月）	年度活動スケジュールの策定（4月）	地域住民交流による啓発普及活動（かかしまつり） 農用地等を利用した農村景観形成活動（花の植栽）



開水路の清掃



施設の補修



花の植栽



かかしまつり

5 取組の効果及び今後の展望等

北山田地域では、農業者が主体となり平成8年より毎年9月の第一日曜日に「かかしまつり」を開催し、地域住民の交流を図ってきました。

「かかし」作りは、農業者が指導者となり幼稚園・学校・各種団体を訪問し作製指導をしております。“まつり”では、田んぼに工夫を凝らした“かかし”が展示され、来賓者・参加者が出来栄を審査し、表彰されます。また、地域住民による多くの模擬店が出店されると共に、高校生による和太鼓が披露され、賑わいをみせます。

本対策により、「かかしまつり」の事業主体が農業者から地域住民全体の広がりになってきたことから、より身近な“まつり”として定着してきています。この“かかしまつり”をとおして、農地の多面的機能の重要性が認識されると共に、地域の連帯強化が図られてきています。

活動をとおして、地域の財産としての農地を再認識するなど、地域住民の意識改革が図られているようにみられ、他地域との交流も生まれています。